【教科・学年・科目】情報 1年 情報の科学

【授業者】 速水 高志

【授業形態】動画配信

【授業の紹介】

授業テーマ「うわさと情報の信頼性|



初回の授業で、電子メールのマナーを守ってメールを送るという課題を出し、メールの内容として入学前に聞いた本校についてのうわさを送るよう指示した。総数にして 264 個のうわさを Gmail から Google スプレッドシートに教員側で集約した。そのスプレッドシートをクラスごとで共同編集しながら情報を整理・集計し、わかったことをレポートにまとめるという課題を出した。

動画配信からの約一週間、チャットやコメント機能を使ったり、作業履歴を記録するシートでコミュニケーションをとったりしながら、クラスで分担・協力してうわさのジャンル分けや真偽の確認作業を行った後、さまざまなパターンで集計してグラフ化という作業が各クラスでなされた。

レポート課題提出後に配信した動画で各クラスの分析の特徴をスライド1枚ずつにまとめて紹介した。 取り組み方の違いが共有できたのは生徒にとっても有意義だったようだ。

生徒のレポートの感想に「うわさは信用できないことがわかった」というものが多かったので、まとめの最後に、うわさの有効な活用法の1つとして、twitter のつぶやきなどがマーケティングに利用される事例を紹介した。

入学直後の1年生でもGoogle スプレッドシートでの共同編集が比較的スムーズに実施でき、うわさの情報をまとめていく中で、情報の真偽をどのように判断できるのか・できないのかを体験できる身近な教材となった。

*動画の作成方法は、Google スライドのプレゼンテーションを GoogleMeet で画面共有して録画する方法を用いている。Chromebook だけで完結できるので簡単である。





各クラスの取り組みの紹介スライド